黒川森林組合だより

第　78　号

発行者　黒川森林組合

事務所
〒981-3407
黒川郡大和町落合松坂字直南沢39番地23
TEL (022) 345-2203　FAX (022) 345-2631
木材加工所
TEL (022) 345-2661　FAX (022) 345-2679

黒川森林組合

代表理事組合長　佐藤豊彦
副組合長理事　石垣英孝
理事（総務委員長）　佐藤武明
理事（業務委員長）　加藤房夫
理事（総務副委員長）　遠藤久雄
理事（業務副委員長）　小畑重敏
理事　浅野鐵夫
理事　佐藤文徳
理事　藤江昭夫
理事　佐々木金弥
理事　小松勇夫
代表監事　赤坂隆一
監事　熊谷稔
監事　高橋真也
監事　齋藤一郎
他職員一同

新年のごあいさつ

黒川森林組合
代表理事組合長　佐藤豊彦

新年おめでとうございます。

組合員、お客様並びに作業員を始め多くの方々、お健やかに良き新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

初夢　貯金残高十億円

啄木の詩に「なんとなく今年は良いことがあるごとし元旦の朝晴れて風なし」というのがございます。この詩を口ずさみますと今年こそは良い年となりそうな気が致します。

私達はコロナ禍に脅かされ、気分の晴れない三年でした。

今もなお新型コロナウイルスもデルタ株やオミクロン株への変異を繰り返して猛威をふるっております。必ず人間の知恵により終息の年となりますよう願わずにはおられません。

自然災害が毎年のように起こり、いつどこで発生するのかわからないのが災害です。大事なことは生命をどのようにして守るかです。それには日頃から防災意識にほかありません。改めて備えることの大切さを痛感致します。

これまでも人類は多くの災害や疫病の困難を乗り越え克服してきた歴史があります。それだけに今年にかける期待は大きなものであろうかと思います。

初代組合長高橋禎之助氏　役職員をはじめ多くの方々が山林、自然と環境を守る重要な役割を果たしている森林組合にご理解を頂き誠にありがとうございます。健全経営で連続三十三年間黒字決算です。又連続二十七年間配当「二億円」です。有限会社たんがら森初代社長高橋仁氏が組合の売上にご協力を頂き感謝感謝です。

本年も作業員、緑の雇用の方々、組合で働く皆さんのお力を借りながら下刈、除伐、間伐、収入間伐、又道路や公園の除草作業し、今年も作業のご依頼を頂けるように努力して参ります。更に役員、職員一丸となって今年も配当を出せる総合型森林組合発展のため努力をして参ります。

最後になりましたが初夢を心に思いながら、お客様、作業員、役職員をはじめ皆様方々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶と致します。

新年のごあいさつ

宮城県仙台地方振興事務所
所長　松田　茂

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、新しい年を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今年は「新・宮城の将来ビジョン」の３年目に当たり、本格的な人口減少局面を見据え、次の世代を育成・応援する施策を重点的に推進してまいります。特に、ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）による「変革みやぎ」の実現に向け、あらゆる分野でデジタル技術をフル活用し、県民サービスの向上や県内産業の活性化などを図ります。また、昨年度創設した次世代育成・応援基金を活用した若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境整備、頻発化・激甚化する自然災害から県民を守るための災害に強い県土づくり等につきましても重点的に取り組んでまいります。

森林・林業分野におきましては、国が、木造建築物の推進対象を公共建築物から建築物一般に拡大すべく法整備を進めるとともに、再造林等により森林の適正な管理を図りながら建築物への木材利用等を推進し、林業・木材産業の成長産業化に取り組むことにより、２０５０年カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現を目指しているところです。県におきましても、昨年４月に開講した「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」での林業技術者の育成研修を通じて森林整備や保全を進めると同時に、木材のサプライチェーンの再構築によって木材の安定供給や林業の持続的発展を図ってまいります。さらに、本県で初めてとなる第48回全国育樹祭の令和７年開催が昨年８月に決定されました。今後、開催に向けて準備を進めてまいります。

黒川森林組合様におかれましては、佐藤組合長をはじめ、組合員と役職員の皆さまが一丸となって健全な組合運営に努められ、地域林業の担い手として林業・木材産業の振興に御尽力いただいておりますことに、改めて敬意を表します。県といたしましても、引き続き森林資源の循環利用を通じた森林の整備や持続可能な林業経営の推進に鋭意取り組む所存でございますので、今後もなお一層の御協力をお願い申し上げますとともに、貴組合の益々の御発展をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

富谷市
市長　若生裕俊

新年あけましておめでとうございます。黒川森林組合の皆様には良き門出をお迎えされましたことお慶び申し上げます。

貴組合におかれましては、黒川地域の林業の発展にご尽力をいただき、感謝申し上げます。また、佐藤代表理事組合長をはじめとした職員の皆様におかれましても、森林環境及び資源を守るために、日々ご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

森林は、国土の保全、生物多様性の保全、木材等の林産物供給などの多面的機能を有しており、その発揮を通じて私たちの暮らしに様々な恩恵をもたらす「緑の社会資本」と言われています。また、災害の防止や地球温暖化の防止、水源の涵養などといった公益的機能の維持や増進を図りながら、ＳＤＧｓの目標とする「陸の豊かさも守ろう」を中心に、様々な取り組みに貢献しておられることは、環境問題など持続可能性への関心の高まりの中、林業・木材産業関係者等、様々な民間企業や個人等による森林との多様な関わりが広がりつつあり、森林の整備・保全や地域活性化にもつながっているところです。

本市におきましては、平成28年から市役所屋上で市民の方々と一緒に養蜂を行っており、環境変化に著しく影響を受ける「環境指標生物」と言われる蜜蜂を飼育することで、環境問題にも高い関心を持ちながら取り組んでいるところです。特に森林は養蜂に必要な蜜源となる植物を守り育てることにも繋がっております。今後も持続可能な森林の育成にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、黒川森林組合の益々のご発展と、組合員皆様のご健勝とご多幸、更なるご活躍をご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年挨拶

宮城県森林組合連合会
代表理事会長　大内伸之

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、穏やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

常日頃は、当連合会の業務・運営に特段のご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

一昨年から世界的に猛威を振るっている新型コロナ感染症は、オミクロン株などの出現で、引き続き感染防止対策の徹底が求められています。

そのコロナ感染症に加えて、ウクライナ情勢が世界各国の経済政策や活動に大きな影響を及ぼし、国内の木材流通にも混乱をもたらし、木材需要や価格などの先行き不透明な状況が続くものと思われます。

国においては、「２０５０年カーボンニュートラル」が宣言され、脱炭素社会や、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」の実現を目指すこととしており、「森林経営管理制度」や「森林環境譲与税」を活用した森林整備等、担い手である森林組合の果たす役割はますます重要となっております。

森林組合系統はこのような流れを追い風としてとらえ、戦後、先人が植えた人工林が成熟期を迎えた今、森林を適切に管理するとともに、資源の循環利用を一層進めるべく、新たな森林組合系統運動「J Forestビジョン２０３０」を進めておりますので、貴森林組合、並びに森林組合員の引き続きのご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍が一日も早く終息し、皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことを心から祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。